

令和5年第10回取手市教育委員会定例会議事録（公開用）

1. 招集年月日 令和5年10月31日（火曜日）午前9時00分
2. 招集場所 藤代庁舎 301会議室
3. 出席委員  
教育長 伊藤 哲  
教育委員（教育長職務代理者） 小谷野守男  
教育委員 櫻井 由子  
教育委員 猪瀬 哲哉  
教育委員 石隈 利紀
4. 欠席委員 なし
5. 委員以外の出席者  
教育部長 井橋 貞夫  
教育参事 伊藤 誠  
教育次長兼教育総務課長 森川 和典  
学務課長 直井 徹  
保健給食課長 大野 篤彦  
指導課長 丸山 信彦  
指導課長（教育総合支援センター担当） 笠井 博貴  
生涯学習課長 塚本 豊康  
子ども青少年課長 長塚 逸人  
スポーツ振興課長 豊島 寿  
図書館課長 樋口 康代  
文化芸術課長 飯山貴与子
6. 書 記  
教育総務課 課長補佐 蛭原 康友  
教育総務課 総務法規係 係長 中村 翔
7. 議 題  
報告第25号 取手市学校運営協議会委員の任命について  
報告31 いじめの事案等への対応について（非公開）
8. そ の 他  
(1) 11月の行事予定及び教育委員会定例会の日程について
9. 発言の記録

午前9時00分開会

○教育長（伊藤 哲）

ただいまの出席者は5名で定足数に達しております。令和5年第10回取手市教育

委員会定例会は、成立しました。

これより開会し、直ちに本日の会議を開きます。

本定例会の議事録について、確認のため申し上げます。議事録は、会議における発言者の氏名と発言全部を記載する全文筆記による作成といたします。なお、教育長のほか会議に出席した委員全員の署名により、議事録を確定させることとします。また、会議の録音データにつきましては、議事録作成の補助手段の扱いとし、議事録が確定した後に消去いたします。

それでは、教育長報告をさせていただきます。6点になります。まず1点目でございます。学校運営協議会の開催についてということで、取手西小学校、久賀小学校の状況でございます。取手西小学校のほうは10月12日に行われました。第2回ということで、まず授業を見学していただいて、その後に2グループに分けて熟議を実施したところでございます。1グループのほうからは、学校の困りごととその対策、地域との連携の仕方。2グループのほうからは、地域の行事の共催、地域ボランティアの話、在り方などについての意見が出されまして、小学校の行事と地域の行事両方にあるお祭りを一緒にできないかというような意見が出されたところでございます。議事につきましては「表現力・思考力の向上を目指す地域と連携した教育活動について」ということが議事として扱われたところでございます。久賀小学校のほうは10月20日（金曜日）、こちらについても授業参観に合わせまして、熟議をしたところでございます。学校の教育目標につきまして、子どもも大人分りやすい表現であるべきという意見や、校長からの提案にあった目標案の「認め合い学び会える子どもの育成」について、皆の意見がまとめられてよいとの意見が出されたところでございます。また、議題Ⅱということで、地域の人がどこまで入っているのかということがございまして、除草作業なども地域の人に参加できるように、地域の人への周知方法について話し合われたところでございます。議題としては「目指す久賀っ子の姿について」ということと「地域学校協働活動の展開に向けて」ということでございます。

2点目です。市民大学特別講座ということで、「健康づくりの公衆衛生的アプローチ」データが語る健康づくり！公衆衛生の最前線から学ぶということで、こちらについては子ども家庭庁の現職の母子健康課長の木庭 愛さんにおいでいただきました。9月26日に実施したところでございます。木庭氏は取手市出身ということで、現在は子ども家庭庁の課長さんですけれども、その前に県のほうの保健福祉部長を歴任されまして、ちょうど新型コロナの感染対策の最前線ということで陣頭指揮をとられた方でございます。実際に公衆衛生的な話ということで、参加者の感想としましては、公衆衛生の重要性ということを改めて認識できた、またWHOの話もありましたので、その歴史的な位置づけということについてもよく分かりましたという感想が出されたところでございます。

裏面にまいります。こちらについても、東京大学EMP特別講座で宇宙についてのお話がございます。こちら、東京大学のエグゼクティブマネジメントプログラムの特任准教授が高梨直紘先生でございまして、9月29日に行われたところでございます。実際、講座が宇宙シミュレーター、要するに、ふだん見上げている空から実際時間を遡って138億光年、宇宙全体が誕生前の138億年遡れるんですけど、そういったものを見せていただくというか、それが宇宙の成り立ち、現在の星という話で、すごく壮大なお話だったんですけど、その感想にもありますけど、プラネ

タリウムを見ているようなんですけれども、それがかつ138億年、太陽系も全部飛び越えてという話なので、非常に難しい話なんですけども実感できるようなお話でございました。

3番目です。同じく東京大学EMP特別講座で、こちらはコンピューターの話でAIのことです。機械学習への挑戦ということで、こちらについては東京大学大学院、理化学研究所にも在籍されている杉山 将先生で非常に貴重な——この先生は研究ばかりではなくて企業のコンサルタントというか助言なんかもしていて、産官学の最前線の方で、AIの歴史と現在のAIが到達しているところ、今後の見込みについてのお話でございました。中身は難しいんですけども、それを分かりやすく説明していただいて、非常に好評だったところでございます。

続いて3番目です。取手市スポーツ協会のスポーツフェスティバルということで、10月4日に緑地運動公園で行いました。スポーツ協会の主催ということでございますけれども、来場者は体力テストやスポーツ体験を行うことができました。会場では小学生のドッジボール大会も盛んに、非常に熱戦が繰り広げられたところでございます。また、武道の演武やダンスの披露等がございました。

4番目、最後でございます。第18回取手市民ペタンク大会ということで、10月22日に、藤代スポーツセンターの広場で行ったところでございます。26チーム、76名の参加がございました。その会場で、ニュースポーツであるボッチャとモルックという、私も初めてだったんですがモルックという——高齢社会ですので認知の向上に向けて、体を動かすことと認知を使うという、2つダブルの操作が効果的だと言われてるんですけど、それが体現できるようなモルックというのがございまして、モルックの道具については今後貸出し等を行うことを考えているところでございます。

私からの報告は以上でございます。

これより本日の議事に入ります。

〔「もう1ページあります」と呼ぶ者あり〕

#### ○教育長（伊藤 哲）

すみません。まだ終わってございませんでした。5番目、がいこくごとにほんごのおはなし会の開催についてということで、10月22日（日曜日）、この前の日曜日、開館20周年を迎えましたふじしろ図書館において行われたところでございます。これは恒例となっている行事でございまして、国際交流協会と布絵本の会「いないいないばあ」の御協力をいただいて実施というところでございます。子どもさんと大人から50人の方々に参加いただきまして、中国語、英語、ベトナム語、タイ語の4カ国語で、それぞれの言葉と日本語の交互に絵本の読み聞かせを行うというところでございまして、また読み聞かせの後にはそれぞれの国のじゃんけん——じゃんけんは日本から広がったみたいなので、共通性はあるんですけどその国ぶりというか言葉の違いがあって、非常に楽しかったんですけど、皆さん一緒に楽しいひとときを過ごしたところでございます。

あと最後になります。6番目、取手ジャズフェスティバル2023 Part2（プロ公演）の実施ということで、こちらは10月14日、市民会館大ホールで行われました。一部では「Z EXPRESS BIG BAND」がスタンダードなジャズを披露しまして、二部ではスペシャルゲストのエリック・ミヤシロさんに、軽快なトークとすばらしい演奏をしていただきました。非常に盛り上がったところでございます。

失礼いたしました。以上で私からの報告を終わらせていただきます。

それでは、これより本日の議事に入ります。

報告第 25 号、学校運営協議会委員の任命についてを議題といたします。

本件についての説明を塚本生涯学習課長お願いいたします。

**○生涯学習課長（塚本豊康）**

おはようございます。それでは、報告第 25 号、取手市学校運営協議会委員の任命について、御説明申し上げます。本件は、取手市学校運営協議会規則第 4 条に基づき、取手市学校運営協議会委員として、別紙の 2 名の方を新たに令和 5 年 10 月 1 日付で任命いたしましたので、御報告するものです。

1 ページに、名簿を添付してございます。取手西小学校は、八重洲ニュータウンの自治会長をされている前原信之さん。久賀小学校は、久賀安全ボランティアをされている柴崎信太郎さんの 2 名になります。委員の任期ですが、令和 5 年 10 月 1 日から年度末の令和 6 年 3 月 31 日までとなっております。2 ページには、委員の概要等を添付させていただいております。以上となります。

**○教育長（伊藤 哲）**

説明は終わりました。

本件につきまして質疑、御意見ございましたらお願いをいたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**○教育長（伊藤 哲）**

質疑、御意見なしと認めます。これにて質疑、御意見を終結いたします。

これより、報告第 25 号を採決いたします。

お諮りいたします。報告第 25 号は、報告のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

**○教育長（伊藤 哲）**

御異議なしと認めます。よって、報告第 25 号は報告のとおり承認することに決定いたしました。

続いて、委員の皆様にお知らせいたします。報告 31、いじめの事案等への対応につきましては、いじめ事案に関する個人が特定できる情報を含む内容となっております。よって、議事を非公開とすることを発議したいと考えます。

お諮りいたします。報告 31 の議事につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項ただし書の規定により、議事を非公開としたいと考えます。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

**○教育長（伊藤 哲）**

御異議ございませんので、報告 31 の議事は非公開といたします。

傍聴の皆様、本件に係る議事は非公開とすることが議決されましたので、本件議事が終了するまでの間、御退席をお願いいたします。

〔傍聴者退室・会議室閉鎖〕

**○教育長（伊藤 哲）**

それでは傍聴の皆様が退席されましたので、引き続き会議を再開いたします。

報告 31、いじめの事案等への対応についてを議題といたします。

本件についての報告を笠井教育総合支援センター長お願いいたします。

(非公開のため説明・審議は省略)

○教育長（伊藤 哲）

この件についてはまた経過報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは質疑、御意見なしと認めます。これにて報告 31 の質疑、御意見を終結いたします。

以上で報告 31 の議事を終わります。

非公開とした件の議事が終了いたしましたので、会議の非公開を解除いたします。

〔会議室開鎖〕

○教育長（伊藤 哲）

会議を再開いたします。

次にその他に入ります。事務局から報告等をお願いいたします。

○教育総務課課長補佐（蛭原康友）

事務局から 1 点御報告を申し上げます。11 月の行事予定及び教育委員会定例会の日程についてです。委員さんの御手元のほうに、11 月の予定行事報告表、本日現在のものがお配りされているかと思えます。11 月の教育委員会定例会なんですけれども、11 月 21 日（火曜日）午前中の開催を予定させていただいております。事務局からの報告は以上になります。

○教育長（伊藤 哲）

それでは、教育委員のほうから何かございますか。

櫻井委員。

○教育委員（櫻井由子）

先日、10 月 28 日（土曜日）に、寺原小学校においてコミュニティ・スクール説明会というのが行われました。これは対象を寺原小学校の PTA、また地域住民の方が対象で、ホームアンドスクールで事前に連絡をいただいて、それぞれ参加者を募ったということで、ただホームアンドスクール入っていない方でも、当日参加もオーケーということで参加者 50 名ほどが参加されました。

当日の説明なんですけれど、土曜日ということで、お休みということで、本来、生涯学習館のほうで行うものを校長先生の御好意で校長先生が御説明いただきました。その後、質疑の中で大変活発に質疑応答がされて、質問が幾つも出たんですけど、例えば熟議の際に、内容によっては子どもの意見も取り入れたらどうかとか、熟議に参加できるのが委員だけというのはどうなんだろう、ほかの PTA も参加できるようにしたほうがいいのではないかとか、またその結果を地域住民にどのように知らせていくか、その手だて。あとコミュニティ・スクールでこういう活動してるよというようなことをもっと発信したほうがいいんじゃないか。その発信方法であるとか、そういった内容が熟議の際に出されていました。こういった内容、各学校ごとの対応だけではなくて、校長先生も実際にその中で、地域住民に知らせる手だてを考えてみたいと思いますとか、お話をされていたんですけど、回覧を回すとか、地域だとホームアンドスクール入っている人はそれでいいんですけど、入っていない人は回覧を回すとか、いろいろな手だてがありますよねみたいな話だったんですけど、なかなか学校ごとの対応だけだと難しいので、コミュニティ・スク

ールの対象校、市全体で考えていく問題でもあるなという印象がありましたので、これも生涯学習課さんのほう大変かもしれませんけれども、御検討いただければなと思います。

また、コミュニティ・スクールの中で、校長先生、教頭先生の負担が増えているというのは、正直なところとして出ましたので、それもちょっと心配だなと思いました。以上です。

#### ○教育長（伊藤 哲）

塚本課長。

#### ○生涯学習課長（塚本豊康）

先日は御参加いただきありがとうございます。先日の寺原小の研修については、事前にちょっとお話があって、こちらのほうで講師をやりますかという話をしたんですけど、今回は校長先生のほうで直にお話になるというお話だったので、今回は学校のほうで行いました。コミュニティ・スクールの研修は順次行わせていただいていて、例えば学校長のほうでコミュニティ・スクールについてお話しする機会もあれば、寺原小で言いますと教員を対象にコミュニティ・スクールはどういうことができるようになるのかみたいな研修も、生涯学習課が講師になって、先日開催したところでございます。また、11月8日には寺原小学校の学校運営協議会をやるんですけども、その際に文科省のCSマイスターの安齋宏之先生に講演と、あと熟議の実施方法についても御指導いただく形になってございます。

今お話ありました、熟議に参加する客体のお話なんですけども、昨日、安齋先生に来ていただいて、コミュニティ・スクールを導入している学校の研修会だったんですが、その際、寺原小学校の教頭先生とも一緒にお話したんですけど、特に委員さんではなくても、参加してくださる方は入っていただいて、結局、子どもたちのためについてお話をするので、どんどんそういう方がいらっしゃれば入って下さいというお話はさせていただいております。また、今年7校でコミュニティ・スクール実施しているんですが、やはり周知の仕方、広報紙等はこれからやっていくんですけども、回覧板等という話もありまして、回覧板で出すのにも市役所のほうに来るのが結構手間がかかるころがあって、委員の中にそういった方がいらっしゃれば、私のほうから声かけてみるよと自発的に動くところも、学校によってはございます。そこは、地域ごとにやり方があるので、こちらとしてもできることはいろいろ御提供してるんですけども、協力してやっていきたいなと思っています。

あと、研修の話がちょっと出たのですけども、委員のほうも御参加されていると思うんですが、11月6日には民生委員を対象に、CSを導入するに当たって民生委員のできることとはみたいなことで、こちらも安齋先生に御講演いただきます。研修の中では、安齋先生から民生委員に特化した形で研修を実施するのは、取手市の事例というのは、全国的にも先進的な話なので、文科省でも先進事例で取り扱っていますよという話ですとか、あと11月8日には校長会を対象にして、杉並区の元校長先生で、市でも結構研修いただいている藤川先生にお越しいたいただいて、都市型のコミュニティ・スクールについての御講演をお願いする形になっています。また、市の生涯学習課のほうでも、これまで市内で実施した事例の共有ですとか、これからやっていくこともやっていきたいと思っています。

委員おっしゃっていただいたとおり、今後、必要に応じて研修とか広報とか一体的な支援を順次やってきたいと思っています。以上になります。

○教育長（伊藤 哲）

井橋部長。

○教育部長（井橋貞夫）

塚本課長の補足をさせていただきます。1点、回覧板の件、ほかの学校で遅いという話が出るんですが、取手市のほうでホームページ内に電子回覧板というのを設けましたので、それを見ていただければホームページを見られる環境であれば、どなたも見られますので、そのようなことも今度周知させていただきたいと思えます。

それともう1点、校長先生、教頭先生の負担が増という話もありました。各学校にコーディネーターを学校のほうで任用していただいて、そういったサポートをできる方というものを予算措置をしてありますので、そういったことも今後詰めていきたいと思っております。

○教育長（伊藤 哲）

そのほかございますか。猪瀬委員。

○教育委員（猪瀬哲哉）

櫻井委員と同じように、学校運営協議会について質問というかお聞きしたいんですけども、学校運営協議会の委員のなり手というか、そういう方というのは、例えば小学校で委員になられると、中学校ではなれないようなことなんでしょうか。

○教育長（伊藤 哲）

塚本課長。

○生涯学習課長（塚本豊康）

御質問ありがとうございます。特にその制約はございません。ただ、お仕事を持たれている方もいらっしゃるので、業務量的に難しいのであれば、別の方ということもございます。委員さんにつきましては、学校長のほうに推薦いただいて、こちらのほうで承認するような形、任命させていただく形をとらせていただいております。

○教育委員（猪瀬哲哉）

ありがとうございます。学校に言ったら、兼任ができないそうでという話があって、先に小学校が始まっちゃうと、中学校で人材が先にとられてしまって、なかなか20名、15名とか地区の方を拾っていくと、先にいろいろやられる方がなっていくので、地区から学校をよくしようというのであれば、全学区から入ってもいいのではないかなみたいな話を一度したもので。すみません、ありがとうございました。

○教育長（伊藤 哲）

ありがとうございます。

そのほかございますか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（伊藤 哲）

それでは、以上で本定例会に付議されました事件の審議は全て終了いたしました。

令和5年第10回教育委員会定例会を閉会といたします。

午前9時55分閉会